

特集

学生の答え、ちゃんと待ってますか 今こそ知りたい ファシリテーションの心構え

「教師」と「ファシリテーター」の違い 石川一喜
「看護教育」におけるファシリテーションの役割

内藤知左子

学生が安心して参加できる場づくりと深い学びを
促進するファシリテーション 渡邊奈穂

答えはみんなのなかにある

——①白熱教室で倫理を考える 小林正弥

——②対話型鑑賞法の授業 伊達隆洋

ファシリテーターにできること 西村佳哲

【特別寄稿】

充実した「学校だより」で学校をアピール 福田明美ほか

【連載】

北欧フィンランドで看護師になる！・2 小林桃子

学びのヒントをもつ私 学生は「経験」の宝庫・5 文倉志信

アジア、アフリカ、ラテンアメリカの看護教育はいま・8 堀井聡子

宮子あずさのエキサイティング Writing・11 宮子あずさ

“医療安全力”を育むリスクアセスメントトレーニング・19

齊藤奈緒美／石川雅彦

編集後記

●演劇好きとしては、ロールプレイのおもしろさや意義、看護との親和性の高さは、ある程度は理解しているつもりです。だからこそ、学生への説明が足りないまま行われているロールプレイを見ると、口出ししたくなる衝動にたびたび駆られます。たとえば、「目を閉じて盲目状態で手を引かれる」という簡単な体験は、目をつぶった友達を楽しんだただ案内するだけで終わりがちです。もちろん、それだけでも学びがないわけではありませんが、「目が見えない不安や恐怖を感じながら」とか「見えない分、聴覚を大事にして」というだけで、得られるものがより多くなるはず。●さらには、「プレイ」を第三者に見せることを意識させると、学生の考える力を伸ばせると思います。そのときは、蓮行さんのようなプロの演劇人の力を借りるのもいいでしょう。費用対効果の高さが実感できるはずです。

……大野

●夏は教育系の学会が続く。大阪での看護学校協議会、徳島での看護学教育学会では、多くの先生方とお会いできました。編集部にも異動して一年半、昨年に学会に参加した際はほとんど知り合いの先生もいなかったことを考えると、少しずつ縁が生まれてきているのを感じます。学会場では、一緒にやっている大野ほど目立つ存在ではありませんが、またお目にかかった際はどうぞよろしくお願いします。●とはいえ、看護教育の現場はあくまで学校や実習現場。学会は一種のお祭りです。宮子あずささんの「エキサイティング Writing」今回のテーマは「現場性」ですが、見学させていただいた授業や実習の貴重な機会のことを頭にめぐらせつつ、学会で発表されているデータの「現場で起きていること」を意識していたいと思います。

……番匠

◎編集室ツイッター

<http://twitter.com/KANGOKYOIKU>

看護教育 第56巻 第10号 2015年10月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2015, Printed in Japan

(1部) 定価：本体1,500円＋税

2015年・年間購読料(増大号を含む12冊)：冊子版15,540円、冊子＋電子版／個人18,540円、冊子＋電子版／共有20,880円、電子版／個人15,540円、電子版／共有17,880円(いずれも＋税、送料弊社負担)

発行：株式会社医学書院 代表者：金原 優 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL：03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776 メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当：番匠・大野・早田

本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

【JCOPY】〈出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969、FAX03-3513-6979、info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/15/紙：¥500/電子：¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは、1論文1回複製につき紙は500円、電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には、筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

「看護教育」は、株式会社医学書院の登録商標です。

『看護教育』 バックナンバーのご案内

(1部) 定価：本体 1,500 円＋税
年間購読 好評受付中！
電子版もお選びいただけます。

Vol.56 No.9

2015 年 9 月
特集

「看護研究」で実践力を鍛える

大学はもちろん、専門学校でも「看護研究」を指導している学校は非常に多いでしょう。卒後の臨床現場でも、看護研究が義務づけられているなど、看護と研究は切り離せない関係です。しかし、限られたカリキュラムのなかで時間的な制約や「文章が書けない学生」といった問題、また大きな前提として、ほとんどの看護学生たちが「研究者」を志して看護を学ぼうとしているわけではない現状もあり、教員・学生ともに「看護研究」の授業は難しい、という印象も強いようです。しかしそもそも、どうして看護研究を教育機関で、卒後研究者を志してもいない学生たちに教える必要があるのでしょうか。研究とは何か、研究を教育するうえで目指すべきことは何なのか、実践例や臨床からの声を含め、研究指導の目的や考え方をもう一度考えてみたいと思います。

- 臨床での実践をみすえて、「看護研究」教育が基礎教育で果たす役割 …… 坂下玲子
- 基礎教育で育てたい3つの力 …… 小野博史・坂下玲子
- 看護基礎教育における「看護研究」の教育活動とケーススタディの進め方
——「広島県看護学校研究発表会」の58年間の継承 …… 三島真由美
——ケーススタディの指導の進め方 …… 渡辺英子
- 入学から卒業まで、教員一丸となって取り組む「研究指導」 …… 佐野千冬
- 看護実践を研究として取り組むことの大切さを振り返る …… 中村清子
- 臨床現場で「看護研究」を実践するための課題 …… 吉田(中濱)多紀
- 教員のための文献指導 再入門 …… 佐渡島紗織



Vol.56 No.8

2015 年 8 月
特集

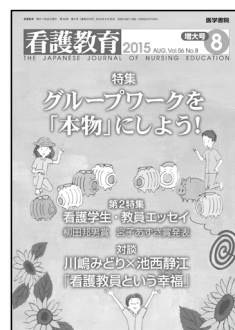
グループワークを「本物」にしよう！

【増大号】1部定価：本体 2,200 円＋税

一方的に話す形式ばかりで、グループワークを授業に取り入れたことがないという教員は、今ではもうほとんどいないのではないのでしょうか。自身が情報を整理し、発言し、傾聴し、情報共有し、発表するということがトータルで学べるグループワークは、看護教育に限らず、さまざまな場で活用されています。が、思い出してください。あなたがやっているグループワーク法は、どこで学んだものですか？ グループづくりから全体のコーディネート、フリーライダーを生まないケア、ワークが流れないときの対応、それらをひと通り学んだ経験のある方は、案外少ないように思います。単に自分が学生時代にしてきたことの延長で行っている、という場合もあるかもしれません。しかし、それではせっかくの手法も十分効果を上げることができないでしょう。今回の特集では、ただ、「グループで話し合わせる」だけのグループワークの問題点を明らかにしたうえで、いかにすれば、「本物」のグループワークとなり、学びとして効果を上げられるかを示します。そもそも、議論自体も高校までの基礎教育で明確に学んできていないことから考えると、実はグループワークは学生たちにとって負担になっているかもしれません。まず話し合いを「本物」にしてから、グループワークも「本物」にしていくべきです。

【第2特集】看護学生・教員エッセイ 入選エッセイの発表

- 学生部門 【講評】患者の可能性を引き出すには…柳田邦男
【柳田邦男賞】患者の心に寄り添うこと…内中貴子
- 教員部門 【講評】語られることで関係は変化し続ける…宮子あすさ
【柳田邦男賞】A氏から教わったこと…西村ちあき
【宮子あすさ賞】説明がつかない不思議な体験…中村貴子



【2015年7月号(Vol.56 No.7)】

看護過程再考

【2015年4月号(Vol.56 No.4)】

本当に伸ばすための
コミュニケーション教育

【2015年6月号(Vol.56 No.6)】

「つまらない」授業よ、
さらば！

【2015年3月号(Vol.56 No.3)】

コースポートフォリオで
授業改善！

【2015年5月号(Vol.56 No.5)】

「やってくる」事前課題を
つくろう！

【2015年2月号(Vol.56 No.2)】

IPEの達成とこれから
「地域で学ぶ」を中心に

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2013 年 8 月号 (Vol. 54, No. 8) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2013 年 9 月号 (Vol. 54, No. 9) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。